

105. Regulärkonzert des Bach-Chors Tokyo

東京バッハ合唱団

第105回定期演奏会

BACH-CHOR
TOKYO
50
1962-2012

カンタータ第111番 《み心は つねに成し遂げらる》

»Was mein Gott will, das g'scheh allzeit« BWV 111

カンタータ第68番 《み神はこの世を かく愛したまえり》

»Also hat Gott die Welt geliebt« BWV 68

カンタータ第147番 《心と 日々のわざもて》

»Herz und Mund und Tat und Leben« BWV 147

モテット 《頌めよ主を 世の民こぞりて》

»Lobet den Herrn, alle Heiden« BWV 230

ソプラノ 光野孝子 MITSUNO Takako, Sopran

アルト 佐々木まり子 SASAKI Mariko, Alt

テノール 鏡 貴之 KAGAMI Takayuki, Tenor

バス 新見準平 NIIMI Junpei, Baß

合唱 東京バッハ合唱団 Bach-Chor Tokyo, Chor

オルガン 草間美也子 KUSAMA Miyako, Orgel

オーケストラ 東京カンタータ室内管弦楽団

TOKYO CANTATA CHAMBER ORCHESTRA

指揮 大村恵美子 OHMURA Emiko, Übersetzung/Leitung



日本語演奏 (天村恵美子・訳詞)
バッハ教会カンタータ名作選

J. S. Bach

2011年 1/9 (日) 14:00 開演
Sonntag, 9. Januar 2011, 14 Uhr

石橋メモリアルホール

(東京・上野, 上野学園内)

Ishibashi Memorial Hall, Ueno

[入場料] 前売券 3000円, 当日券 3500円 (全自由席)
Eintrittspreis: ¥ 3000 Vorverkauf, ¥ 3500 Tageskarte

[チケット取扱い/問合せ] 東京バッハ合唱団

Tel: 03-3290-5731 Fax: 03-3290-5732

E-mail: bachchortokyo@aol.com

http://www2.tky.3web.ne.jp/~bach/chor/

主催/東京バッハ合唱団 後援/ドイツ連邦共和国大使館

Veranstalter: BACH-CHOR TOKYO

Unterstützung: Botschaft der Bundesrepublik Deutschland in Japan

Meisterwerke von Bachs
Kirchenkantaten.
Aufführung in japanischer Sprache





●光野孝子(ソプラノ)

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。二期会オペラスタジオ・マスタークラス修了(優秀賞受賞)。第5回藤沢オペラコンクール入選。1997年文化庁芸術インターンシップ研修員。オペラでの多彩な活動に加え、宗教曲においては、バッハの教会カンタータほか「マタイ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」「ロ短調ミサ曲」、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」など多くの作品でソリストを務めている。2006年6月、ドイツ・ライプツヒヒで開催されたバッハフェスティバルにて、樋口隆一氏指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団とともにニコライ教会でのカンタータ音楽礼拝に出演、ソプラノリストとして好評を博す。2008年、2009年ベルギーで行われた声楽マスタークラスに参加。2009年には東京バッハ合唱団ドイツ公演にも同行し、バッハ「宗教歌曲」などを独唱している。現在、東京バッハ合唱団、国立国会図書館うたう会、震ヶ関男声合唱団指揮者、明治学院バッハアカデミーなどのヴォイストレーナー。二期会会員。

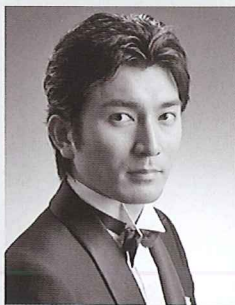


●佐々木まり子(アルト)

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修士課程独唱科修了。伊藤亘行、森明彦の各氏に師事。学部在学中より小林道夫氏指導のもと、芸大バッハカンタータクラブで多くのオラトリオやカンタータのアルトソロを受け持つ。1980年デットモルト北西ドイツ音楽大学に留学し、ヘルムート・クレッチマル氏に師事。その間、北ドイツにおいてバッハを中心とした宗教音楽演奏会に数多く出演。帰国後もヴィンシャーマン指揮の「クリスマス・オラトリオ」をはじめ、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「ロ短調ミサ曲」や多数の教会カンタータ、ヘンデル「メサイア」「エジプトのイスラエル人」、メンデルスゾーン「エアリア」「パウロ」などオラトリオ作品のソリストとして各地で演奏活動を行っている。1993年ヴィンシャーマン指揮ドイツ・バッハソリストの「マタイ受難曲」ではソリストとして国内各地に同行した。現在岩手大学、東北大学各合唱団ヴォイストレーナー。女声合唱団グレイセスもりおか、アンサンブル・コンフォーコ指揮者。

●鏡 貴之(テノール)

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京芸術大学大学院修士課程独唱専攻修了。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、多田羅迪夫の各氏に師事。主に宗教曲、オラトリオのソリストとして東京近郊を中心に活動。特にバッハの作品では「クリスマス・オラトリオ」「ヨハネ受難曲」「ロ短調ミサ曲」や多数の教会カンタータのソロを務める。他にモーツァルト「レクイエム」、ハイドン「十字架上の七つの言葉」、シューベルト「ミサ曲第6番変ホ長調」、ベートーヴェン「第九」、芸大合唱定期でブルックナー「テ・デウム」「ミサ曲第3番ヘ短調」などに出演。2007年東京バッハ合唱団第100回記念定期演奏会「マタイ受難曲」公演ではエヴァンゲリストとして好評を博した。現在盛岡バッハカンタータフェライン、芸大バッハカンタータクラブ、21合唱団、日本声楽発声学会、グルッペベッヒライン各会員、バッハコレギウムジャパンメンバー。東京バッハ合唱団においては、ヴォイストレーナーとして貢献している。



●新見準平(バリトン)

福岡県出身。東京芸術大学声楽科卒業(アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞)。現在同大学院音楽研究科独唱専攻に在籍。福島明也、多田羅迪夫、原田茂生、宮本修の各氏に師事。学部在学中、バッハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の薫陶を受ける。2009年労音「第九」でデビュー。「魔窟」「コシファントウツテ」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」「アリオダンテ」「カルメン」「ホフマン物語」などのオペラに出演。またバッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」および数多くのカンタータのほか、ヘンデル、モーツァルト、シューベルト、メンデルスゾーン、プッチーニ、フォーレなどの多くの宗教曲にソリストとして活躍。H・M・シュナイト、D・ボストック、R・ボーン、鈴木雅明、現田茂夫、松尾葉子、黒岩英臣、内藤彰の各氏の指揮のもと、東京ニューシティ管弦楽団、芸大フィルなどと共演。現在、東京ムジックライズ副指揮者、オルフ祝祭合唱団、館林第九合唱団、LVB室内合唱団の合唱指揮者を務める。ブログ http://blog.livedoor.jp/comical_baritone/



●団員募集 ● 日本語で《ロ短調ミサ曲》を歌いませんか!

東京バッハ合唱団は、わが国におけるバッハ演奏と研究のパイオニアとして、教会カンタータを中心に、受難曲、オラトリオ、ミサ曲、モテットなど、さまざまなジャンルのバッハ合唱曲を紹介しつづけてきました。この間の演奏活動にかかわった独唱者、演奏家の方々のなかから、今日のバッハ隆盛をになっている多くの一流プレイヤーを輩出しています。

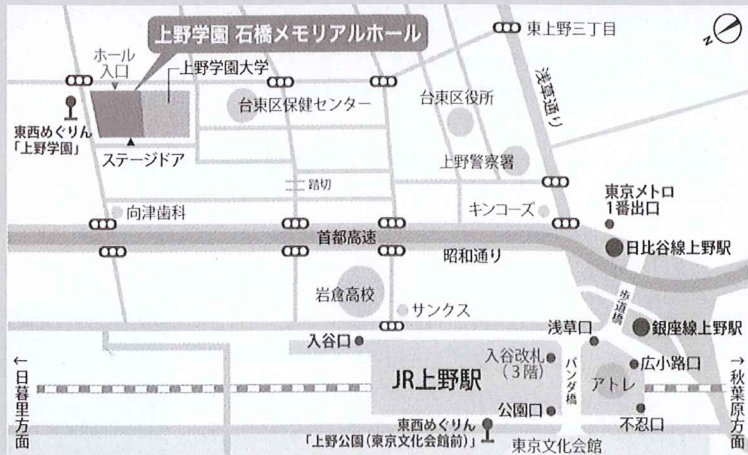
来たる2012年、私どもは創立50周年を迎えます。2011年に始まる記念企画の第1弾は、《ロ短調ミサ曲》日本語演奏=世界初演! (2011年11月予定)。以降3年間に、《マタイ受難曲》、《クリスマス・オラトリオ》、《ヨハネ受難曲》など、いずれも日本語上演を予定しています。

なぜ、日本語か? それは、私たちが日本語で考え、思い、日本語で感じているからです。ことばの壁は、心のもっとも奥深いところでなされる芸術体験を拒んでいます。母語でうたう喜びを、一人でも多くの方に知っていただきたいと願っています。資料をご請求ください。

<練習日/会場>

月曜日 18:30-20:30, 目白聖公会(新宿区下落合3-19-4, JR山手線「目白」駅下車5分)

土曜日 15:30-17:30, 世田谷中央教会(世田谷区桜新町1-14-22, 東急田園都市線「桜新町」駅下車4分)



【主催/チケット申込み/お問い合わせ/資料請求】

東京バッハ合唱団

Tel: 03-3290-5731 Fax: 03-3290-5732

E-mail: bachchorTokyo@aol.com

<http://www2.tky.3web.ne.jp/~bach/chor/>

石橋メモリアルホール(上野学園内)への交通

- 台東区東上野4-24-12, Tel.03-3843-3043(直通)
- JR「上野駅」入谷改札をへて、入谷口より徒歩8分。
東京メトロ 日比谷線/銀座線「上野駅」1番出口より徒歩8分。
- 台東区循環バス 東西めぐりん「上野公園(東京文化会館前)」より乗車、「上野学園」にて降車、徒歩1分。所要時間3分、15分間隔で運行。